

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年09月24日

計画の名称	小野市における水環境の整備(2)(防災・安全)													
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度(5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	小野市													
計画の目標	管路の長寿命化を図り災害に強いまちづくりを推進。 集中豪雨の多発に対し総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作る。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		140	A	140	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H31末)
1	コンクリート下水道管路の老朽調査を60%(H26)を100%(H27)にするとともに、改築を実施すべき箇所について改築を行う。 コンクリート管の老朽度調査を実施し、改良を施すための計画を作成 調査延長(km)/調査必要延長(km)(16.3km)	60%	100%	100%
2	集中豪雨の多発に対し総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作る。 下水道による都市浸水達成率(%) 概ね10年に1回発生する規模の雨量に対して安全である区域の面積(ha)/都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha)(585ha)	45%	45%	46%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
小野市水道部内で目標達成状況を確認し、評価を実施	令和2年9月
	公表の方法
	小野市ホームページにより公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水管の新設工事を実施した結果、雨水の流れもスムーズとなり、浸水箇所の発生頻度が従前より低くなった。 ・コンクリート管の老朽度調査を実施した結果、現状管内状況が把握でき、今後の改修計画立案が可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、雨水整備を行い浸水箇所の発生頻度を低くしていく。 また、コンクリート管の調査で発見した修繕必要箇所について修繕を進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	コンクリート管の老朽度調査率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	下水道による都市浸水達成率	
	最終目標値	46%
	最終実績値	47%

(参考図面)

平成30年 2月 1日

計画の名称	1 小野市における水環境の整備 (2) (防災・安全)	交付対象	小野市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		

